

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1987. 12

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO.43

日本野鳥の会 埼玉県支部

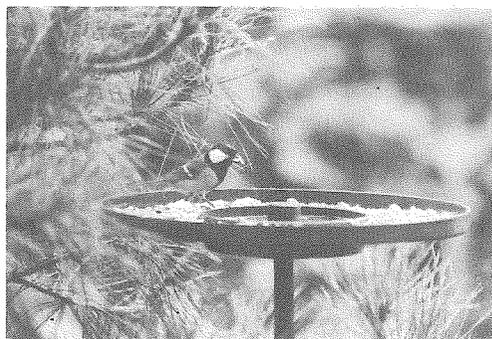
ミニサンクチュアリ入門 (2/2)

(1) 身近にできる～

(財) 日本野鳥の会普及部主任 藤本和典

ジョウビタキやツグミなどの渡来のたよりが各地から聞かれ、ピラカンサやムラサキシキブの実も、色濃く味も良くなってきた頃でしょう。ミニサンクチュアリで、野鳥たちを招待する準備はできましたか。冬の寒さで遠出よりも、コタツに入ってミカンでもと思っているモノグサの方へ、夏季編に続いて冬のミニサンクチュアリづくりをここに紹介させていただきます。

一年で一番野鳥が庭先やベランダにやってくるのは、2～4月の初旬（関東地方）なのです。その頃は、野鳥の餌の昆虫や小動物、たとえば、越冬中のクモや蛾などの卵・幼虫、植物の種子や実も年明け前にはまだ目に付いたのに、正月過ぎには食べつくしてしまいます。それにもっと北の方、高い山などでは積雪により地表面が隠されてしまいます。そのため平地や雪の少ない南の地方へ降りてくるのです。ミニサンクチュアリは餌付けを優先していません。都市化により、昔は林や草地だった所がコンクリートで固められ、人工

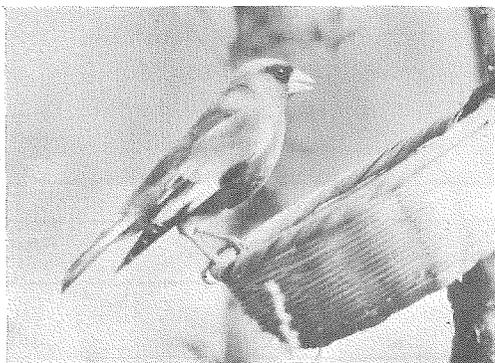


の建物がたくさん建ってしまい、せっかく冬越しのため遠方よりやってきたら、環境が悪くなっていることが多く、野鳥たちにとっては住みづらいといえるでしょう。

日本野鳥の会で行っている、ミニサンクチュアリ・キャンペーンは、冬になる前に実の成る木や小動物などがやってくる環境作りを用意し、冬期の餌の少ない時期だけ、野鳥たちに適量を三日坊主でなく続けること、多種類の野鳥を招待するため、なるべく異なる種類の餌を用意し援助することを提唱しています。

(2) 冬期三二～

③水場 まず夏から秋にかけて枯葉が落ちたり鳥のフンなどでかなりよごれていると思います。掃除をしましょう。ただし、「過ぎたるは及ばざるが如し」何事も程度をこすのは、足りないのと同じといいますが、水苔などはタワシなどで、こすり落したりせずそのまま



の方が野鳥も安心してやってきます。砂や土が入れている場合、少し大きな容器なら、トンボのヤゴなど水生昆虫が越冬している可能性があります。これから寒くなってきます。水をいつも動かしていると凍りにくく、上空の野鳥も、キラキラ光る水の反射を見つけてやってくるきっかけにもなります。そうはいつでも、寒くなり凍った時は早朝でも、野鳥は水浴をかかしません。湯を用意して溶かすか割ることをお忘れなく。

④餌台 最近では外国から輸入したもの、国内で製品化されたものが色々あるようです。便利なものとして、日本野鳥の会で扱っているバードテーブルとバードフィーダーがあります。これはどちらも、野鳥が猫などの外敵から守られる高さに餌を配置できるように考えられています。特にバードフィーダーは釣

下げ式で、自動給餌タイプで餌が雨にぬれません(野鳥誌11月号カタログ参照)。たいへん便利です。自分で工夫して作って見るのも楽しいでしょう。もう一つ大切なことがあります。餌台の配置です。せっかく野鳥が来ても観察しづらいのでは、楽しみも半減です。窓辺に近くて野鳥の安心できる場所を選んでください。

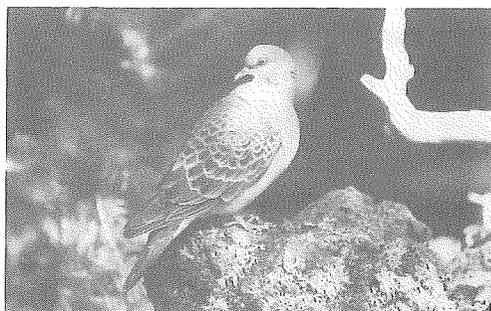
◎レストランメニュー 餌台にやってくる野鳥は限られているという批判があります。メニューは豊富に、多種類の野鳥が来るように緑の環境を用意することと共に大切なことです。野鳥の餌としてアメリカやイギリスではかなり普及しているバードケーキをご紹介します。これは動物質を好む鳥から雑食性はもちろん植物質を好む野鳥まで、広く利用することで、知られています。欧米では各家庭により工夫があり、それぞれ違う材料で配合されています。基本的な作り方を説明しますので、それぞれご自身で工夫したらいかがでしょうか。用意するもの、さとう、小麦粉(またはパン粉など)、マーガリン(またはバター、カラードなど)この3品を粉を少し多めにほぼ同量混ぜて固めるだけ。寒い時期には湯煎すると作りやすくなります。これに独自にクルミやレーズンなどを入れても良く、餌台の上や木の幹などに置くか、塗りつけてください。

④ 巣箱の用意 この時期は巣箱を掛けるのに一番良い時期です。冬の寒い夜、シジュウカラやスズメなどは自然の中で、樹洞や屋根の透き間などに入り込んで夜を過ごします。巣箱があれば冬から利用されるのです。面倒な方には既製品も用意されていますが、日曜日



などに作ってみてはいかがでしょうか。丸太をくりぬいたり、赤ちゃん用の粉ミルクのキャンビールの塩ビ樽なども工夫しだいで、巣箱に早変わりです。あまり長持ちしませんが、お酒の紙パックも簡単に加工でき巣箱になります。ただしカラスなどの害を受けやすい場所ではお勧めできません。

◎鳥のフンを集めよう 前回の夏季編では、緑の用意の大切さを説明させていただきました。自然界で山火事や人工的な伐採地などでも、早い時期に木が生えてきます。なぜでしょうか。実は、この禿げ山に木をもたらすのは野鳥なのです。コナラやクヌギなどのドングリはリスやカケスが運びますが、もっと小さな種子は鳥のフンによるのです。ですから庭先を野鳥の楽園にしようと思ったら、餌台の近くやいつも野鳥が休んでいる木の下などをよく捜しましょう。見つけたフンは、茶漉しのようなもので水洗いし、陰干ししてから春先に蒔いて下さい。野鳥の好きな実の成る木の苗がたくさん手に入ります。



以上色々説明させていただきましたが、野鳥の餌の種類やミニサンクチュアリの年間作業を中心にした暦など、くわしくは日本野鳥の会発行「窓をあけたらキミがいる」ミニサンクチュアリ入門書(980円)をご覧ください。

会費自動引き落としがスタート

会費の自動引き落としが来年3月からスタートします。

会費を払いたいのだけど、忙しくてなかなか郵便局まで行けないし、面倒だな、なんていう気持ちになったことはありませんか。もう大丈夫。

郵便局、銀行、信用金庫などなど、ほとんどあらゆる金融機関をご利用いただけます。一度手続きをすれば、毎年の会費納入の手間から解放されます。

『野鳥』誌12月号にはさみ込まれた申込み用紙か、普通会员の場合は郵便で届く用紙をご利用ください。

先着2,500名(正会員2,000名、普通会员500名)様には、すてきなプレゼントも用意してあります。

「ネコとオジロワシ」の絵はがき
もらえます

昨年5月号の『野鳥』誌に掲載されてマスコミなどでも大きな話題を呼んだオジロワシに敢然と飛びかかるネコの写真、おぼえてますか。あの写真とノグチゲラの写真の絵はがきを、12月いっぱいの会員増強月間内に入会した人と、その紹介者がもらえます。

残念ながら家族会員はのぞかれるのですが、どんどん入会者を紹介して、どんどんもらっちゃいましょう。

はがきで本部にだれかを紹介して、本部からその人に呼びかけてもらう方法と、直接入会金と年会費を本部に郵便振り替えて送金し、その振替用紙の通信欄に、入会者の住所、氏名などとともに、紹介者の住所、氏名も明記する方法があります。

オオハクチョウ

私がオオハクチョウ2C92に出会ったのは、北海道東部、網走近郊の涛沸湖で1984年3月17日であった。2C92は涛沸湖北浜の限られた開水面にひしめきあっている水鳥の群の中にいた。

2C92は1982年1月23日、青森県小湊で標識、放鳥されたメスの成鳥である。このオオハクチョウは、1981年秋～1982年春をはじめとして、少なくとも四シーズン、シベリアの北緯50度から60度の亜寒帯針葉樹林帯の湿原で繁殖をし、越冬のため日本へ渡ってくる。

2C92の日本での観察記録をもとに、オオハクチョウの越冬生活について知っていただきたい。(小荷田行男)

【観察記録】

年月日	地所	備考
1982. 1. 23	青森県 小湊	放鳥
1982. 11. 9 ~ 11. 21	北海道 涛沸湖	
1. 13	青森県 小湊	
1. 19	” 野辺地	
3. 5 ~ 4. 12	北海道 涛沸湖	

1983. 10. 19 ~ 12. 4	北海道 涛沸湖
1984. 1. 14 ~ 2. 12	青森県 小湊
3. 11 ~ 4. 15	北海道 涛沸湖
4. 29	” サロマ湖
1984. 10. 23 ~ 12. 8	北海道 涛沸湖
1985. 1. 22 ~ 2. 8	青森県 小湊
3. 16 ~ 3. 31	北海道 涛沸湖
4. 14 ~ 4. 22	” サロマ湖

(注) 小湊：青森県東津軽郡平内町

<文献>

- 山階鳥類研究所標識研究室 1984. 10 標識ハクチョウ観察結果 1983年秋～1984年春
- 山階鳥類研究所標識研究室 1986. 2 標識ハクチョウ観察結果 1984年秋～1985年春
- 日本白鳥の会 1984. 10 標識白鳥の記録 日本の白鳥 No. 10 126～143
- 日本白鳥の会 1985. 10 標識白鳥の記録 日本の白鳥 No. 11. 80～91
- 小荷田行男 1985. 2 オオハクチョウ2C92 しらこばと 第9号 4



■■■■■■■■■■ 阪東大橋探鳥会で ■■■■■■■■■■

佐藤真奈美 (深谷市)

土手を降りると「ノビタキがいるよ!!」との声にみんな走り寄る。クリクリとした目がとてもかわいい。草陰からはウズラの鳴き声が聞こえる。姿がみたくてしばらく待っていたが結局でてきてくれなかった。残念だなあ。

空をみあげるとツバメの群れが飛びかっている。私たちの目の前をヒューと横切っていく。本流にでるとカイツブリが数羽。向こうではサギ類がいた。



(カット・今井明巨)

すると急に青いものが目に入った。カワセミだ。魚をねらってホバリングしている。アッ!! 飛びこんだ!! こんなテレビでしかみたことがない。感激!! 感激!! しばらくするとチョウゲンボウも姿をみせてくれた。

渡り鳥のみんな、来年もまた元気な姿をみせてね。

■■■■■■ 個人的きまま野鳥記 1 セイタカシギ ■■■■■■■■■■

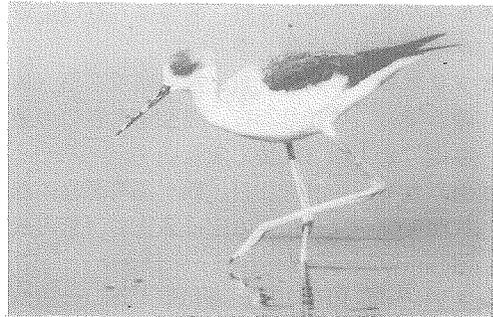
初めて見た時には、長い足の赤さが強く印象に残った。突然手前の葦かげから飛び上がり、ずっと向こうの葦のかげに飛んでいった2羽。鮮明な記憶。

いるはずだと探しに行き、凶鑑のと通りの姿であられると、へえ、こんな鳥が本当にいるのだと、つい感心してしまう。自分でも単純なものだと思うが、初めて見たセイタカシギは、本当に足が長く、本当に赤かったのだ。

ただ足が長いだけだったら、サギやツルも長い。しかし、セイタカシギの繊細で気品ある美しさは比類がない。わが連れあいは、セイタカシギなんてきらい、ふん、どうせ私なんか、などという。女のしっと心はこわい。いざ目の前にあらわれると、わ、かあわいなんて口走るくせに。

ある時、大井野鳥公園にある珍鳥が現われたとの情報を得て、仕事から抜け出してでかけた。鳥友N君に出会った。N君は学校の先生なのに、こんな時間にこんな所にいいのかね、まあまあ、あはあは、はははは。

結局ばちがあたったか目当ての珍鳥にふられた2人はぶらぶらと汐入の池へ。



お、セイタカシギがいるじゃない、1、2……9羽も、しかも割と近くに。浅い水中を歩いて餌をついばむ、飛去り、飛来る。時間の過ぎるのも忘れる。

決して珍鳥の代用品ではない。もう私もN君もすっかり満足して、初めからセイタカシギを目当てに行ったような気になって、あれこれのシーンを頭と胸いっぱい詰めて帰ってきた。 (五条壇武男)

— ごめんなさいコーナー —
前月号(No.42)7ページ右下、カオグロザビチョウではなくカオグログザビチョウで、かけぬけではなくかごぬけでした。

野鳥情報

カムリカイツブリ ◇10月10日、狭山湖で1羽（佐藤方博）。

カワウ ◇10月10日、狭山湖で約100羽（佐藤方博）。

アオサギ ◇9月29日午前8時、浦和市の芝川、霞野新橋下流で1羽（大武昭雄）。
◇10月4日、浦和市三室で1羽（浅沼源太郎）。

オシドリ ◇10月3日、浦和市大谷口の遊水池で♂1羽（近藤 崇）。◇10月18日、寄居町の玉淀湖で24羽（北川慎一）。

マガモ ◇9月23日、狭山湖で1羽（佐藤方博）。◇9月28日、熊谷市下増田の福川でカルガモ30羽～40羽の中に♀1羽（諏訪隆久）。

コガモ ◇9月13日、所沢市下富の遊水池で20羽（佐藤方博）。

トモエガモ ◇10月3日、浦和市大谷口の遊水池で1羽（近藤 崇）。

ヒドリガモ ◇10月10日、狭山湖で3羽（佐藤方博）。◇10月26日、浦和市大谷口の遊水池で♀1羽（近藤 崇）。

オナガガモ ◇9月23日、鶴ヶ島町高倉の池尻池でカルガモ12羽の中に♂1羽（宮内武昭）。

シマアジ ◇10月3日、浦和市大谷口の遊水池で1羽。その後10月26日現在4羽（近藤 崇）。

ハシビロガモ ◇10月2日、浦和市の白幡沼で1羽（海老原美夫）。

ホシハジロ ◇10月23日、本庄市の阪東大橋下流の利根川で2羽（北川慎一）。◇10月26日、浦和市大谷口の遊水池で♂1羽（近藤 崇）。

キンクロハジロ ◇10月10日、狭山湖で10羽（佐藤方博）。◇10月26日、浦和市大谷口の遊水池で♂1羽（近藤 崇）。

ミサゴ ◇10月10日、渡良瀬遊水池で1羽（横山みどり）。

オオタカ ◇10月10日、狭山丘陵で1羽（佐藤方博）。

サシバ ◇9月13日、所沢市下富で1羽（佐藤方博）。◇10月10日、狭山湖上空で3羽（佐藤方博）。

ノスリ ◇10月10日、狭山丘陵で1羽（佐藤方博）。

チュウヒ ◇10月10日、渡良瀬遊水池で1羽（横山みどり）。

チョウゲンボウ ◇9月27日、戸田市道満で2羽（登坂久雄）。◇10月10日、狭山丘陵で1羽（佐藤方博）。

クイナ ◇9月19日午前10時、吉見町の吉見百穴近くの水田で1羽（谷津弘子）。

ヒクイナ ◇10月22日、川口市差間のアシ原で1羽（近藤 崇）。

バン ◇10月23日、浦和市大谷口の遊水池で幼鳥1羽（近藤 崇）。

タゲリ ◇10月14日、幸手市木立の中川で1羽（秋間利夫）。

トウネン ◇10月18日、川越市の伊佐沼で1羽（近藤 崇）。

ハマシギ ◇10月14日、幸手市木立の中川で3羽（秋間利夫）。◇10月27日、本庄市の阪東大橋下流で約100羽の群舞（北川慎一）。

アメリカウズラシギ ◇10月18日、浦和市秋ヶ瀬A地区で1羽（近藤 崇）。

アオアシシギ ◇10月11日、川本町の明戸堰上流で1羽（渡辺敦他6名）。◇10月23日、本庄市の阪東大橋下流で13羽（北川慎一）。

キアシシギ ◇10月10日、狭山湖で1羽（佐藤方博）。

クサシギ ◇9月1日、坂戸市多和目の高麗川で1羽（宮内武昭）。◇10月20日、吉見町の天神沼で1羽（谷津弘子）。

ユリカモメ ◇10月10日、本庄市の阪東大橋下流で8羽（林 滋）。◇10月10日、狭山湖で4羽（佐藤方博）。

アマツバメ ◇10月4日、大宮市北袋で3羽（浅沼源太郎）。◇10月4日、川口市差間で9羽（手塚正義）。◇10月4日、浦和市三室で10羽（横山みどり）。◇10月18日午後5時、浦和市の武蔵浦和駅上空で20羽以上（海老原美夫）。

カワセミ ◇9月27日、鶴ヶ島町高倉の池尻池で♂1羽（宮内武昭）。◇9月29日、浦

和市の鷺神社西側の見沼代用水で1羽（大武昭雄）。◇10月4日、大宮市膝子で1羽（浅沼源太郎）。◇10月18日、大宮市の氷川神社、白鳥の池で1羽（諸徳寺四郎）。

アリスイ ◇9月30日、本庄市の阪東大橋下流南岸で1羽（渡辺 敦）。

アカゲラ ◇10月4日、寄居町の鐘撞堂山で♀1羽（林 滋）。

ショウドウツバメ ◇10月10日、渡良瀬遊水池で50羽（横山みどり）。

ツバメ ◇10月10日、狭山湖で2羽（佐藤方博）。◇10月17日、浦和市三室の芝川で3羽（箕輪真澄）。◇10月18日、浦和市秋ヶ瀬A地区で3羽（近藤 崇）。

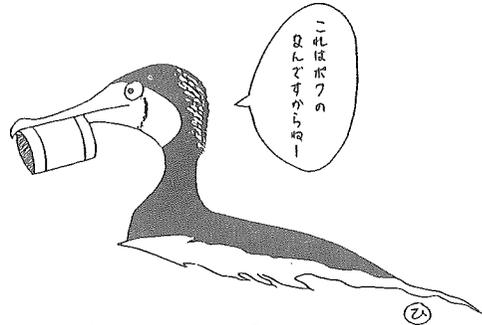
セグロセキレイ（白化） ◇10月20日、吉見町の市野川で白化個体1羽（谷津弘子）。

ムネアカタヒバリ ◇10月18日、浦和市秋ヶ瀬A地区で1羽（近藤 崇）。

タヒバリ ◇10月18日、浦和市秋ヶ瀬A地区で6羽（近藤 崇）。

ジョウビタキ ◇9月23日、鶴ヶ島町の高倉土地改良区で♀1羽（宮内武昭）。◇9月26日、本庄市の阪東大橋付近で1羽（林 滋）。◇10月18日、大宮市の氷川神社の白鳥の池で1羽（諸徳寺四郎）。◇10月19日、熊谷市万吉の立正大学構内林周辺で♂1羽（渡辺 敦）。◇10月26日、浦和市本太で♀1羽（藤野富代）。◇10月26日、浦和市岸町の事務局付近で♂♀各1羽（海老原 美夫）。

ノビタキ ◇9月27日、戸田市道満で3羽（登坂久雄）。◇9月30日、浦和市大谷口の草原で1羽（近藤 崇）。◇10月10日、渡良瀬遊水池で3羽（横山みどり）。◇10月20日、吉見町の吉見百穴付近の水田で1羽（谷津弘子）。



（カット 榎本秀和）

ツグミ ◇10月1日、浦和中尾の自宅付近で1羽（草間和子）。

オオセッカ ◇10月4日、浦和市秋ヶ瀬公園内のアシ原で1羽（近藤 崇）。

コヨシキリ ◇10月10日、渡良瀬遊水池で1羽（横山みどり）。

キビタキ ◇10月1日、蓮田市の自宅で♀1羽（小林芳江）。◇10月3日、戸田市道満で♂2羽♀1羽（登坂久雄）。

エゾビタキ ◇10月3日、戸田市道満で2羽（登坂久雄）。

カシラダカ ◇10月22日、浦和市大谷口のアシ原で1羽（近藤 崇）。

アオジ ◇10月26日、浦和市太田窪のアシ原で1羽（近藤 崇）。

オオジュリン ◇10月10日、渡良瀬遊水池で1羽（横山みどり）。

イカル ◇9月27日、鶴ヶ島町の高倉の林で21羽（宮内武昭）。

カケス ◇9月23日、狭山丘陵で1羽（佐藤方博）。◇9月27日、鶴ヶ島町の高倉の林で2羽（宮内武昭）。

ガンS.P又はハクチョウS.P ◇9月27日午後5時30分、浦和市本太上空を北々東から南々西へ約50羽が鍵型をえがいて飛んで行く（小荷田行男）。

表紙の写真

コミミズク（フクロウ科）

この写真は、一昨年秋ヶ瀬公園で撮ったものです。300m×50mの枯れ野原に3羽いました。夕方、全てが金色になったそのなかを、獲物を探してゆっくりはばたいて飛ぶ姿は印象的でした。こんな狭いところは住み

やすい筈がないと思いましたが、1羽は5月中旬までいたのです。昨年も3羽来しました。今年は残念なことに、そこは整地されて環境が全く変わってしまったのです。

（写真と文・正田 茂）



北川辺町・渡良瀬遊水池探鳥会

期日：12月6日（日）
 集合：午前9時 東武日光線柳生駅前
 交通：東北本線大宮 8:12 発→栗橋 8:40 着、
 東武線乗換え 8:57 発→柳生 9:05 着
 （今回は栃木県側のかかなり奥の方も探鳥コースに入っていますので、可能な方は自家用車でおいで下さい）

解散：午後1時ごろ

共催：栃木県支部

担当：山部、石川、中島

見どころ：冬枯れの草原に乱舞する猛禽達。
 ノスリ、チュウヒは常連です。ナイトのミサゴはどうですか。修飾語付きの連中に会えるかどうかは日頃の行ない次第。色様々なカモさんの姿も楽しめるでしょう。

熊谷市・大麻生探鳥会

期日：12月13日（日）
 集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
 交通：秩父鉄道熊谷 9:04 発→大麻生 9:12 着/
 秩父鉄道寄居 9:01 発→大麻生 9:19 着

解散：午後1時ごろ

担当：鈴木（忠）、渡辺（敦）、諏訪

見どころ：冬鳥の姿もすっかり揃った荒川の河原を歩いてみましょう。ユリカモメやカモ、それに小鳥達。コハクチョウは今年も来てくれるのでしょうか。

すっかりきれいになった鴨達。葉の落ちた雑木林を賑やかに通り過ぎるカラ類の混群。冷たい風を切って飛ぶ猛禽。鳥の見やすくなる季節です。師走の忙しさに負けず探鳥会へ。

持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、（もしあれば）双眼鏡などです。

参加費は、一般=100円、会員及び中学生以下=50円。予約申込みは必要ありません。小雨決行です。

夢中になり過ぎて、鳥を驚かししたり、植物を荒らしたりなどしないように。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月19日（土）午後1時から
 会場：浦和市立コミュニティーセンター1階 図書資料室（浦和駅西口から県庁通り西進、中山道を左折し約600m右側）
 案内：会場の都合で、今月は第3土曜日。この日はまだ『しらこぼと』の印刷ができていないので、封筒のラベル貼り、名簿との照合作業、入会案内パンフレットを折る作業などを行ないません。実際に『しらこぼと』を封筒に入れる作業は、26日（土）の午後、支部事務局で。こちらもお手伝いお願いします。

12月は写真クラブ定例会をお休みします

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：12月20日（日）
 集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または午前9時 浦和市立郷土博物館前（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

共催：浦和市立郷土博物館（参加費無料）

担当：楠見、福井、渡辺（周）

見どころ：今年も鳥納めは三室で。林のアカハラ、芝川の川面に光を散らすハマシギの群飛等、三室の冬鳥が勢揃いで、今年最後の盛り上がりを見せてくれます。上空を見ていると少し早いクリスマスプレゼントが見つかるかも。

年は忘れても鳥は忘れないの会

期日：12月20日（日）

会場：浦和市立コミュニティーセンター
（道順は12月19日の袋詰めの会参照）

I部 映画と講演

時間：午後3時～5時

映画：「空と湖と鳥たち」

講演：「こんにちはタンチョウ」

講師：中村玲子さん

（ツル保護特別委員会事務局長）

案内：楽しいお話しに映画を交えて外の寒さも忘れる熱気で今年も締め括り。

II部 忘年パーティー

時間：午後5時～6時30分

会費：大人2,000円、小人500円

備考：準備の都合上、II部に参加される方は12月13日までに事務局（0488-32-4062）、または各探鳥会においてお申し込みください。



東京都北区・浮間公園探鳥会

期日：1月3日（日）

集合：午前9時30分 埼京線浮間舟渡駅前

交通：埼京線大宮9:03発 → 武蔵浦和9:16発 → 浮間舟渡9:25着

解散：正午ごろ一応解散

担当：海老原、福井、登坂

見どころ：ホロ酔い迎春探鳥会。新年の鳥初めは、池のカモやカモメ達との御挨拶。次に荒川でカワウ大明神に初詣。一応解散の後は、各自持参のお神酒でホロ酔い……ではなく、お清めをすれば、何かお年玉が飛び立……たないかなあ。

長野県・軽井沢探鳥会

期日：1月9日（土）

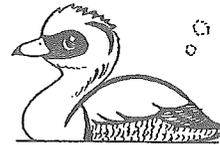
集合：午前6時30分 大宮駅中央改札口前

交通：高崎線大宮6:42発普通電車に乗車、高崎で特急に乗換え、軽井沢下車。途中駅からの乗車も可。大宮7:22発特急あさま1号利用も可。軽井沢からバス利用。

解散：現地にて午後3時ごろ

担当：中島、楠見、草間、横山

見どころ：白い雪、赤い鳥。真赤なほっぺのウソ。お腹の薄紅色はベニマシコ。しっぽの先の紅一点ヒレンジャク。赤紫の乱舞、ハギマシコの群れは今年はどうでしょうか。凍り道、雪道を歩きます。足元の準備と防寒は怠りなく。



越谷市・古利根川探鳥会

期日：1月10日（日）

集合：午前9時30分 東武鉄道北越谷駅東口
（その後現地までバス利用）

交通：東武伊勢崎線新越谷9:25発 → 北越谷9:30着 / 東武伊勢崎線春日部9:15発 → 北越谷9:29着

解散：午後1時ごろ

担当：山部、石川、木村

見どころ：目の前でのんびりしているカモさん達を見ながら河原を歩きましょう。ヨシガモのあの頭は見えるかな。

1月10日（日）熊谷市・大麻生探鳥会

1月17日（日）浦和市・三室地区探鳥会

1月24日（日）寄居町・荒川探鳥会

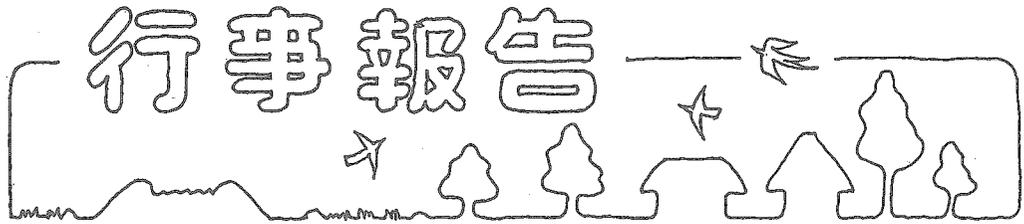
久喜市・昭和池探鳥会

1月31日（日）吉見町・吉見百穴周辺探鳥会

三芳町・多福寺探鳥会

（カット＝鈴木加代子、鈴木高士）

行事報告



10月4日(日) ワシ・タカ調査

人がんばった人 浅田徳次、新井清子、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、岡安征也、小淵健二、金井祐二、木村義人、黒田佳子、小荷田行男、杉本秀樹、鈴木忠雄、諏訪隆久、田村照治、手塚正義、登坂久雄、堂坂多美子、林 滋、福井恒人、福井 亘、藤原寛治、松井昭吾、松井昭子、簗輪眞澄、森本國夫、山部直喜、吉田二三子、渡辺孝章(29人)。絶好の天気恵まれたこの日、上記のメンバーが、寄居町の鐘撞堂山、鳩山町の物見山、日高町の高指山の3ヶ所に分かれて、調査を行った。あまりタカが出ない場所もあった一方、高指山では、埼玉県内ではこれまで1日に記録されたことがないと思われる多数のサンバがカウントされた。調査結果の詳細については、研究部から『しらこぼと』で発表される。長時間にわたって空を昇り上げて、首が痛くなったり、目がショボショボしたりした調査員の皆さん本当に御苦労さまでした。

10月11日(日) 熊谷市 大麻生

人 29人 **天気** 晴 **鳥** ダイサギ コサギ カルガモ トビ オオタカ キジ クサシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ エゾビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス(26種) いつもとコースを変えて「野鳥の森」から押切橋付近を探鳥。「野鳥の森」は、森が深く、声はすれども姿は見えず。しかし、旅の途中のエゾビタキが約束の場所で我々を待っていてくれた。また、オオタカが舞って、カワセミも現われ、参加者を楽しませてくれた。二次会の明戸では、なんとミサゴがダイビング。コイをおいしそうに食べていた。

10月18日(日) 浦和市 三室地区

人 58人 **天気** 晴 **鳥** ダイサギ コサギ カルガモ コガモ チョウゲンボウ タカブシギ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒバリ ショウドウツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(25種) 夏姿のダイサギが現われた。でも、モズは高鳴き、冬の使者ユリカモメが3羽姿を見せ、セキレイ類は、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイと3種そろって、季節は確実に冬へと向かっている。でも、ジョウビタキなど冬の小鳥はまだ見られない。1班は美しく晴れた空にチョウゲンボウの勇姿を見ることもできた。

10月25日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

人 23人 **天気** 雨後曇 **鳥** コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ オオタカ ハヤブサ チョウゲンボウ ムナグロ タシギ ユリカモメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(25種) 「今日は雨が降っているからタカ類は出ないでしょう」とリーダーが言えばチョウゲンボウ、電柱の上で翼を広げるオオタカの勇姿、最後にはハヤブサまでも。「もうムナグロは見られないと思います」とリーダーが言えば、ムナグロの群れが飛ぶ。「リーダー、今度は何が飛ばないのですか」なんていわれちゃって、どうもすみません。きっと、雨が降っているのに集まった熱心な皆さんのために鳥たちも特別にサービスをしてくれたんでしょう。

10月31日(土)『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 浅沼源太郎、石川直子、岩波勇一、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、金井祐二、金子真理、最明治弘、堂坂多美子、登坂久雄、藤野富代、吉田二三子、吉本富美子、渡辺敦(15人)。手作りのチーズケーキやコーヒー、お菓子の差し入れたっぷり、ありがとう&御苦労さまでした。

10月31日(土) 写真クラブ定例会

集まった人 15人 **作品発表した人** 5人

11月1日(土) 吉見町吉見百穴周辺

人 34人 **天気** 曇後晴 **鳥** カイツブリ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、タカSP、コジュケイ、ユリカモメ、キジバト、ショウドウツバメ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ

モズ ジョウビタキ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) お目当てのタゲリは、稲刈りが済んでないためかいまだ姿なし。でも、ジョウビタキやカシラダカが今季初めて姿を見せてくれて、秋の深まりを実感。それにしてもツバメたち、いつになったら旅立つんだい？



カシラダカ (金井祐二)

— 付 録 —

地形図とメッシュ

支部で会員による夏鳥・冬鳥調査を行っていますが、そのときに「メッシュ地図による調査」というような言葉が使われているのを覚えている方もあるでしょう。実は、JIS(日本工業規格)で「地域メッシュコード」というのが決められており、その規定にしたがって2万5千分の1地形図を縦横10等分して線を引き、縦横がおよそ1kmの100のマスキに分けた時の一つ一つが、メッシュ(正しくは基準地域メッシュ)なのです。それぞれに固有の8桁の番号(メッシュコード)が付けられており、この番号で日本のどこかがわかります。そして8桁のうちで上位6桁が2万5千分の1地形図1枚に描かれている地域



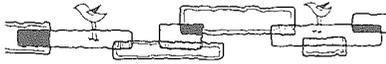
森本國夫(大宮市)

全体に付けられた固有の番号、下位の2桁が前述の100のメッシュに付けられた番号なのです。この下位2桁の番号をもう少し詳しく説明すると、十の位が一番下を0として下から数えて何番目のマスキかを、一の位が一番左を0として左から数えて何番目のマスキかを示すようになっているのです。

「地域メッシュコード」は色々な調査の結果をコンピュータなどで処理するために決められているもので、目的によってはさらに小さい区画に分けることもあります。詳しくお知りになりたい方は、研究部までどうぞ。

珍しい鳥を見た場所を人に教える時、野鳥情報、フィールドノートなどにメッシュコードを使えば便利ですね。8桁の数字が面倒なら、「上尾84」などと上位6桁の数字を地形図名で置き換える手もあります。ちなみに私はメッシュコード53396498(与野98)の住人ということになります。

連絡帳



冬鳥分布調査の季節です

今年も冬鳥分布調査の季節がやって来ました。もうご存じですね。12月1日から来年1月31日までの間、あなたのフィールドで観察された鳥の名とおおよその数を、メモしておいてください。そしてその結果をまとめて、今月号に同封したはがきを書いて、事務局までお送りください。

1枚1枚のはがきの積み重ねが、変わりゆく埼玉の自然を、鳥相を通して明らかにしていきます。ご協力をお願いします。

今回の注目種は、ヤマガラです。あなたのフィールドで、ヤマガラは観察されますか。

メッシュ地図と調査票による調査法もあります。やってみたい方、研究部までご連絡ください。

おもしろ鳥絵はがき、新発売

ぼさぼさ髪をくしげずっておしゃべりしているヒヨドリさん、くちばしから糸をたらして魚つりしているカワセミさん、おもしろ鳥の絵はがきが6枚で400円。絵を書いた漫画家の富士鷹なすびさんは埼玉県支部の会員、本名比企裕さんです。探鳥会などでお買い求めください。



題字『しらこぼと』=山下静一(財)日本野鳥の会会長、イラスト見出し=鷹尾正済(p5, 6, 12, 表紙デザインも)・鈴木加代子(p8)・渡辺周司(p10)

親子野鳥観察のつどい、リーダー参加

国立オリンピック記念青少年総合センター主催の親子野鳥観察のつどいが10月24日と25日に代々木公園などで開催され、近県各支部から合計7人のリーダーが集合。埼玉県支部からは森本國夫幹事が参加、一晩泊りで探鳥指導などの役目を果たしてきました。

ご寄付ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。
大森詩子 1,000円 笠井実 20,000円
菅原由紀江 600円 バードソンYYパルク
チーム 1,785円 (50音順、敬称略)

会員数は

11月20日現在784人です。

活動報告

10月1日、17日 アイリスメガネ本社にて、パネル展打ち合わせ(海老原)。

10月4日 タカの渡り調査(県内3か所)。

10月10日 普及部会議。

10月18日 編集部会議(10月号の反省、12月号と1月号について、その他)。役員会議(司会・黒田佳子、パネル展の進行状況、支部エンブレムの追加発注、行事予定、その他)。



この間、戸隠の越水ヶ原に行って来ました。今年4回目の戸隠です。お目当ての冬鳥には会えなかったけれど、見事な紅葉とカラ類のかわいらしい姿を楽しむことができました。

さて今年も残すところあと1ヶ月余。ふりかえてみると今年1年、ずいぶんいろんな所へ行きました。そしてずいぶんいろんな鳥や人に会えました。来年はどこでどんな鳥や人と会えるでしょうか。楽しみです♡

(黒田佳子)

『しらこぼと』1987年12月号(第43号) 定価 100円(会費に含まれます)

発行人 今井昌彦 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 ☎ 0488(32)・4062

〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

(本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)